

2016.11

Lambda Systems

THE CATALOGUE

[製品ラインナップ]





be right with you
Lambda Systems Inc.



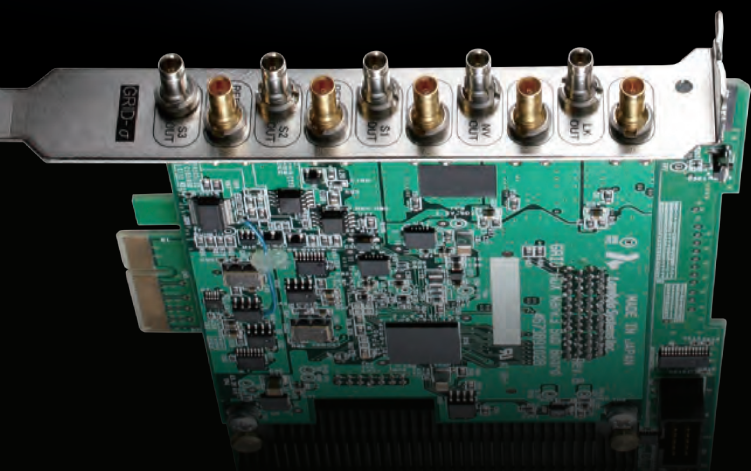
COMPACT & USEFUL

場所を選ばない、新しいテロップシステム



GRID-σ

GRIDBOX



GRID-σ

グリッドシグマ



GRIDBOX

グリッドボックス

高性能を凝縮した 最新型GRID

GRID-HEXAと同等の性能を持ちながら、
歴代GRIDの中で最も小さいサイズを実現。
より小型なPCにも搭載が可能になります。

極省スペース！ IP制御対応

1U-halfサイズの筐体に、たくさんの機能が
詰まっています。ラックマウントはもちろん、
中継での使用等、様々な現場のカタチに対応。

高性能コンパクトモデル登場

商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ラムダテロップ

検索

株式会社 ラムダシステムズ

<http://www.lambda.co.jp/> ▶▶▶



MADE US ALL

ハードからソフトまで自社開発。
ラムダシステムズだから出来る
映像ソリューション。




Lambda

Index

ーラムダシステムズの製品ー

当社は、様々なテロップシステムを共通のエンジンで構成することにより、テロッパーの統合と連携を進めてまいりました。スポーツや選挙など外部データに依存するテロップの作成支援、定型報道テロップ作成の自動化・省力化を目標に、基幹テロップシステムパッケージ「Neo・n」とフレームバッファ「GRID」を中心とした製品開発を行なっています。

当社の基幹テロップシステムパッケージ、「Neo・n（ネオン）」。
内包している専用のアプリケーションや便利な機能をご紹介します。

Neo・n ----- 3

得点表示や選手名など、スポーツに特化したテロップを作成する
アプリケーション。競技特有の細やかなデータを扱えます。

スポーツ・コード ----- 5

9つの競技を1つのパッケージにした手軽なスポーツ用テロップシステム。
簡単操作で、スポーツ特有の画面を送出できます。

簡易スポーツ2 ----- 6

二段ロールの対応や文字装飾機能を強化したL字テロップシステム。
必要な情報を、より分かりやすく表示できます。

e-Telop5 ----- 7

SNS上のメッセージをリアルタイムに取得。視聴者の声を即座にOA。
NGワード登録など、校閲機能も充実しています。

SNS 連携アプリ ----- 8

ノンリニア編集ソフト向けに Neo・n で作成したテロップを
エクスポートするプラグインが Adobe Premiere Pro に対応しました。

Premiere Pro プラグイン ----- 9

Avid Media Composer でも気軽にテロップを使用できる
ノンリニア編集ソフト向け Neo・n プラグイン。

Media Composer プラグイン ----- 10

Grassbally EDIUS で Neo・n で作成したテロップを使用できる、
ノンリニア編集ソフト向け Neo・n プラグイン。操作性も抜群です。

EDIUS プラグイン ----- 11

大規模なテロップシステムを必要とされているお客様向けに、発注から
制作、校閲、送らまでの作業環境を一括でご提供するシステムです。

電子発注・校閲 ----- 12

首長選などの中～小規模選挙に対応したアプリケーション。
簡単な操作で選挙速報を行えます。

簡易選挙 ----- 13

これからの高精細映像に美しいテロップをご提供できるよう、「HDR」に
対応した「GRID-ZERO」。4K用のテロップも Neo・n で作成できます。

4K テロップシステム ----- 14

今までで一番コンパクトなフレームバッファ「GRID-σ」と、
IPでGRIDの制御を可能にした「GRIDBOX」。

GRID-σ / GRIDBOX ----- 15

多数の導入実績をもつフレームバッファ「GRID」シリーズ。
各GRIDの機能比較と、「GRID-VEGA」の特長をご紹介します。

GRID シリーズ ----- 17

オンラインで認証が必要な Adobe アプリケーションを、特約付き
エンタープライズ版としてオフラインで使用できます。

Adobe® Creative Cloud ----- 18

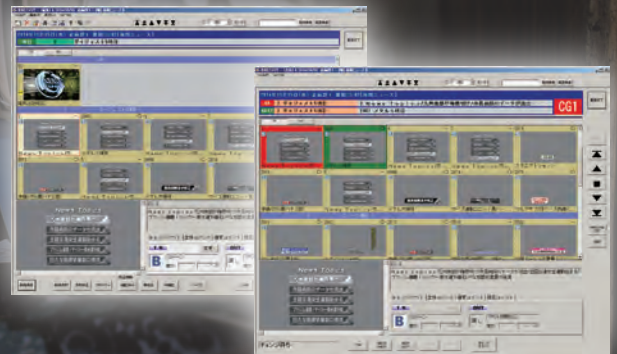


テロップ作成から 管理・送出版までトータルサポート

「Neo・n」は、リアル情報統合型汎用テロップシステムパッケージです。
当社フレームバッファ「GRID」をベースにした機器と各種ソフトウェアによって、テロップ作成から管理・送出版まで、確実な運用をサポートしています。
作画から送出版まで全てを1台のPCでまかなうスタンドアロン運用から、複数サーバに数十台の端末を持つ大規模システムまで、さまざまなシステム構築による運用が可能です。

テロップ素材の管理 『素材ブラウザ』

テロップ素材の新規作成や修正、順序の並べ替え等の作業を行う際の起点となるアプリケーションです。Windowsエクスプローラに類似したなじみやすい操作感で、テロップ素材を「部屋→番組→項目→素材」の階層で管理します。
また、送出機能を使用することで、作成したテロップを迅速にOA送出することができます。



テロップ素材の作成・編集 『シーンエディタ』

少ない手順で簡単に美しいテロップが作成できるのはもちろん、データを参照して自動的にテロップを生成する詳細な設定まで可能です。
スポーツ・コダなど他の専用アプリケーションにて取り扱うテロップ素材もシーンエディタで作成されているので、同じように編集することができます。

テロップ素材のOA送出 『リムパネル』

わかりやすい操作画面でOA送出が可能です。送出に関する詳細な設定や、テロップ素材のコピー・並べ替え・削除なども行えます。
タッチパネルやリモコンを使用した送出も可能です*。

*オプション



高性能を、より身近に

Neo·nの基幹となる、テロップ素材の作成・編集ツール「シーンエディタ」。
シーンエディタは、美術スタッフの作業効率を図るための機能がたくさん詰まっています。

ワンタッチで効果的な表現を設定



スタイルシート 2D/3D

ブラシ(塗り)と複雑な修飾の組み合わせによって作られた効果的なデザインを簡単に選択・適用します。



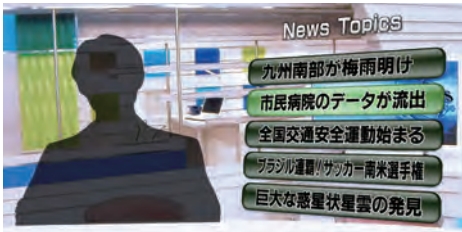
モーションギャラリー3D

3Dモーションのテンプレートがあり、ダブルクリックするだけで文字列やイメージに対し3Dモーションを適用できます。



パーツキャビネット

イメージファイルやシーンエディタで作成した素材を部品として登録しておき、ドラッグ&ドロップで入力画面にいつでも貼り付けることができます。



ユニットの3D回転

文字や図形のユニットに任意の軸(X/Y/Z)を中心とした回転を設定します。プレビュー画面上でマウスによる直観的操作で3次元的に回転できます。

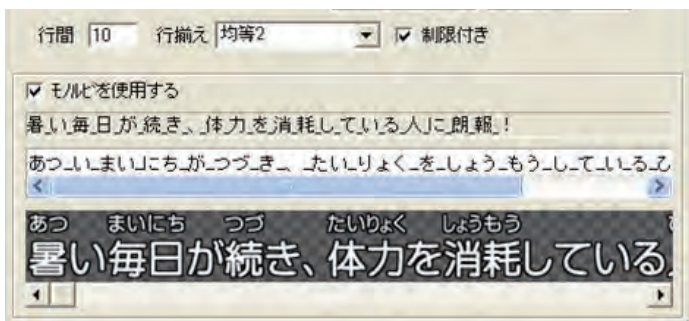


ビデオユニット

ビデオユニットは、「GRID-VEGA」の第2外部映像入力をテロップと合成するユニットです。CG編集の段階で、入力映像のエリア、映像の縮小/拡大などの設定を行い、トータルデザインが可能です。(GRID-VEGA専用の機能です)

- 入力映像にクロマキー、ルミナンスキーの適用可能
- 合成する入力映像のエリアを指定
- 入力映像の拡大/縮小可能
- 表示順序(前面/テロップ間/背面)の設定

テロップ作成のスピードと効率を向上



モノルビ機能

従来のシーンエディタでルビを振る場合、1文字ずつ選択し、ルビ文字を入力していました。
本機能は広範囲な文章に対しても正確なルビ文字を一括で適用できます。対象文字だけを選択する必要はありません。
広い範囲で文字を選択して一気にモノルビの設定が可能です。



テキストファイル読み込みによる素材自動生成

素材管理ツール「素材ブラウザ」上で、テンプレートとなる素材にテキストファイルを読み込んで、素材を自動生成します。
元素材に設定している縦書き/横書き、書体、文字サイズをはじめとする各種書式、色/エフェクト、および動きは、生成される素材にも同じく適用されます。同じ形式で大量の素材を作成する場合に大変便利です。

種目別スポーツCGシステム

スポーツ・コーダ

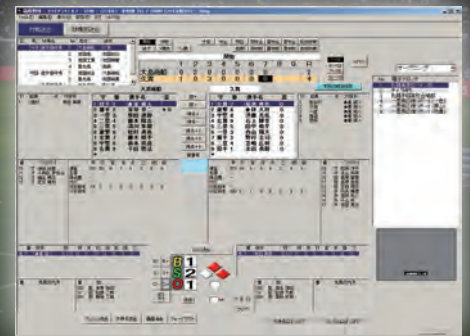
スポーツ中継を強力にサポートする 抜群の操作性

スポーツ・コーダシステム開発チームは、1988年以来、数多くのスポーツ中継の現場に直接立ち会い中継をお手伝いして参りました。今では、放送局、プロダクションなど、多くのユーザー様にご利用頂いています。
お客様の声をもとに開発を進めてきた成果をスポーツ中継の現場で実感してください。



それぞれの競技に特化

スポーツでは必須作業である大会前の選手データ入力や対戦登録も、見れば直感的に操作できるアプリケーション画面でスムーズに入力。
緊張を強いられるOA時の得点入力も、人間工学に即した操作画面でサポートしています。
大量のデータを扱うため、安全な送出手続きができるよう、専用のスポーツキーボードもご用意しております。
汎用テロップシステム「Neo.n」のテロップ素材作成・編集ツール「シーンエディタ」を搭載し、グラフィカルな送出画面のオリジナル制作も可能です。
(対応競技) 野球・サッカー・ラグビー・バスケットボール・バレーボール・マラソン・駅伝 他種目にも対応



専用キーボードでさらに安全・確実な送出

安全で確実な送出ツールとして実績を上げてきた当社のスポーツキーボードが「SPORTS KEYBOARD 2」としてリニューアル。
IP制御に対応し、全てのキーにLEDランプを搭載。軽量化を図り、今まで以上の操作性を実現しました。
また、ミニキーボードもラインナップ。サブキーボードとして野球の得点の送出やBSO操作が行えます。



多種目対応スポーツCGシステム

簡易スポーツ2

9種目が1つのパッケージに。 コンパクトな多種目対応システム

簡易スポーツ2は、野球・サッカーなどの対戦型競技を中心に9種目をパッケージ化。各競技特有のテロップもしっかりカバーして番組のグレードを高めます。

電子テロップ送出機能や「サッカー」でのゴール選手登録機能をはじめとする様々な機能を備えました。洗練されたイメージデザインと使いやすさで、充実した運用が行えます。

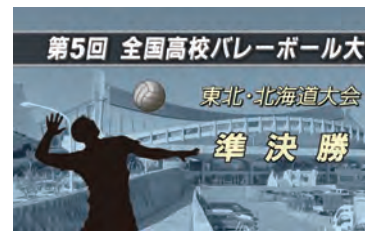


手軽に使える

シンプルな操作で煩雑となりがちなオペレートが簡単にできます。サッカーの小得点テロップには高精度のタイマーを表示。バレーボール等ではセットポイント、マッチポイントの表示も行えます。標準シーンや操作画面はこの他にも延長戦等の様々なケースにも対応しています。

〈対応競技〉

野球・サッカー・ラグビー・テニス・バドミントン・バスケットボール
バレーボール・ハンドボール・卓球



シンプルな操作を追求

事前準備が簡単
送出が簡単
イメージ送出も可能

対戦する両チームの選手データをCSV形式で所定のフォルダに保存するだけの手軽さです。厳選したテロップの送出とゲーム操作をファンクションキーに割り当て、確実に素早い送出をサポート。Adobe Photoshopなどで作成したアルファチャンネル付イメージを一覧して簡単に送出できます。

e-Telop5



緊急時に大切な情報を わかりやすく視聴者へ届ける

必要な情報を簡単に、効果的に送出できるテロップ制作システム『e-Telop』は緊急を要する様々な場面で運用いただいております。

災害情報などの大切な情報を正確に皆様にお伝えするため、より詳細なデータを扱えるように進化しました。汎用性が高く、地域情報の配信などにもご利用いただけるシステムとなっています。

操作性の良さと多機能の両立

『e-Telop5』は、シリーズが持つ使いやすさはそのままに、文字修飾機能を強化しました。

特定キーワードをイメージで置き換えたり、下線を引いたりといった強調が可能になりました。また、緊急時運用などにおいて、より安定した送出操作が行えるよう、リスト機能を充実しました。



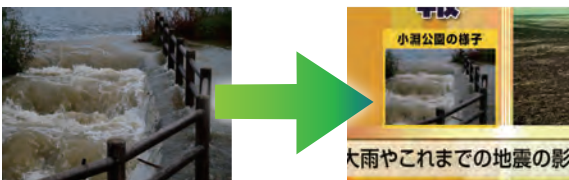
外部データとの連携

e-Telop5は、外部からデータを流し込むための汎用インターフェースを公開しています。局独自に開発したCMSから直接原稿データを流し込む、サードパーティーに依頼したソフトウェアからSNS上のデータを流し込むなど、幅広い活用を支援します。

情報伝達のための多彩な機能

ビデオユニット対応

ビデオユニット*をL字画面上に配置すれば、外部からの映像をリアルタイムに送出することが可能です。 ※GRID-VEGAの機能



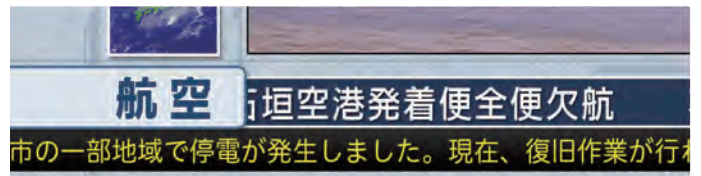
情報エリア追加

天気情報や簡易なニュースを表示できる情報エリアを追加しました。イメージを使用できるので広告等にもご利用いただけます。カットイン・スライドインの動き指定が可能です。



複数行同時ルールに対応

情報をグループ分けして、表示領域を増やすことで、短い時間で多くの情報を同時に表示できます。



文字装飾により情報を強調

文字ごとの色指定、アンダーライン、ザブトン、指定語句に連動したイメージの挿入など、簡単な操作で情報を強調できます。



視聴者の声をリアルタイムで放送

SNS連携アプリ

充実した校閲機能で、少人数でも
安全・安心の運用

Twitterなどのソーシャルネットワーキングシステムからデータを取得・校閲して、テロップ素材として送出ができます。Neo・nの素材編集ツールであるシーンエディタを使えば、色・エフェクトなどのデザインが思いのまま。オプションでFacebookにも対応。データがあれば、LINE・メールも送出できます。

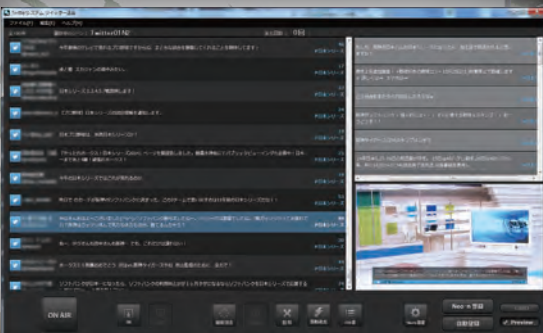


校閲時間を短縮

大量のメッセージを1つずつ人の目で校閲するのは多大な労力を必要とします。校閲アプリでは、NGワード登録で、特定の文言を含むメッセージを自動で除外。ユーザーIDのブラックリスト機能で、悪質なユーザーもシャットアウトできます。

定型文の挿入や手動入力機能も備え、番組独自のハッシュタグや番組紹介のメッセージ等を簡単に入力できます。

また、校閲したメッセージを一度に複数選択して送出アプリに転送できます。



スピーディーにOA

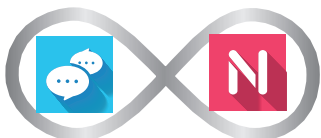
校閲アプリから受け取ったメッセージを、さらに校閲しながら選択して送出できます。

送付リストは2段構成になっており、特に採用したいメッセージをストックしたり、再送付リストにしたりと様々な使い方が可能です。

画面右下ではメッセージの送付プレビューが表示されるのでレイアウトの確認ができて安心です。

送付時間を設定して、新着メッセージを自動で送付することもできます。

Neo・nとしっかり連携



送出アプリからNeo・nへの素材登録が可能。

加えて、校閲済みのメッセージを自動的にNeo・nに素材登録する自動登録機能を搭載。

生放送で使用したメッセージを、動きなどもそのままNeo・n素材として取り込んで保存ができます。

ノンリニア編集ソフト用Neo・nプラグイン

Adobe® Premiere® プラグイン

近日
発売

待望のPremiere対応版

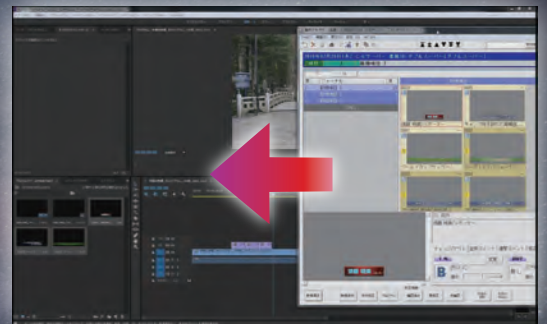
Neo・nで作成したテロップが、ついにPremiereでも使えるようになりました。
ロール等の動きのエフェクトもそのままPremiere上へ持ち込め、ノンリニア編集を快適にします。
さらに、Neo・nで作成したテロップにPremiere上でエフェクトをかけることも、より凝った演出が可能になります。

■「Adobe」「Premiere Pro」はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。



簡単な操作でテロップを配置

あらかじめNeo・nでまとめて作成したテロップを、ドラッグ&ドロップの簡単操作で配置。難しい操作は全く必要ありません。
レンダリングサーバーを使用しているため、Premiereにインポートされたテロップ素材は、配置するとすぐにプレビューができます。もちろん再編集も可能で、即座に反映されます。
動画編集集中に、新規に必要なテロップを作成することもできます。



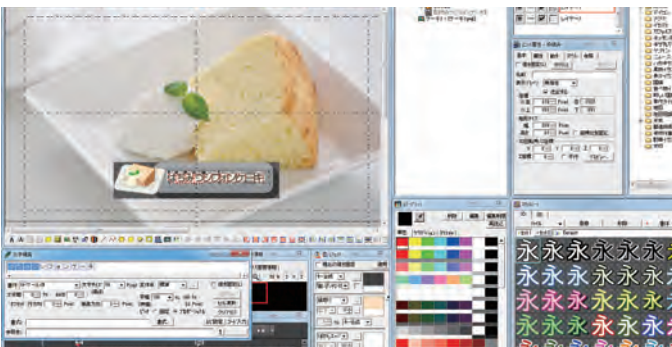
4Kテロップの エクスポートにも対応

Neo・nが4Kテロップに対応しているため、今までと同じ手順でテロップの作成が可能です。
HD番組で使用していたテロップを4K番組で使用できますので、4K専用の素材を作成する必要が無く、大幅な時間短縮になります。

操作性向上のため開発中の仕様

映像に合わせてテロップ修正

編集時の映像をシーンエディタの背景として、画面に合わせたテロップの修正が可能になります。



ローカルでレンダリング

レンダリングサーバーを使用せず、テロップを配置するたびにレンダリング処理を行います。
サーバーを立てた場合と比べて安価なシステム構成です。



ノンリニア編集ソフト用Neo・nプラグイン

Media Composer プラグイン

Neo・nの表現を ノンリニア編集で活かす

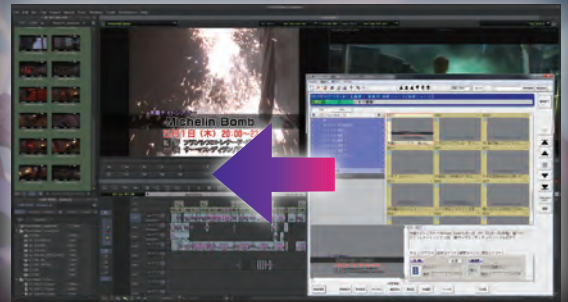
Avid社のノンリニア編集システム Media Composer用 Neo・nプラグインもご用意しております。多彩な文字修飾で、魅力的な映像制作が可能になります。制作現場を強力にバックアップするプラグインです。

■ [Avid] [Media Composer® | Software]は、米国アビッドテクノロジー株式会社の登録商標です。



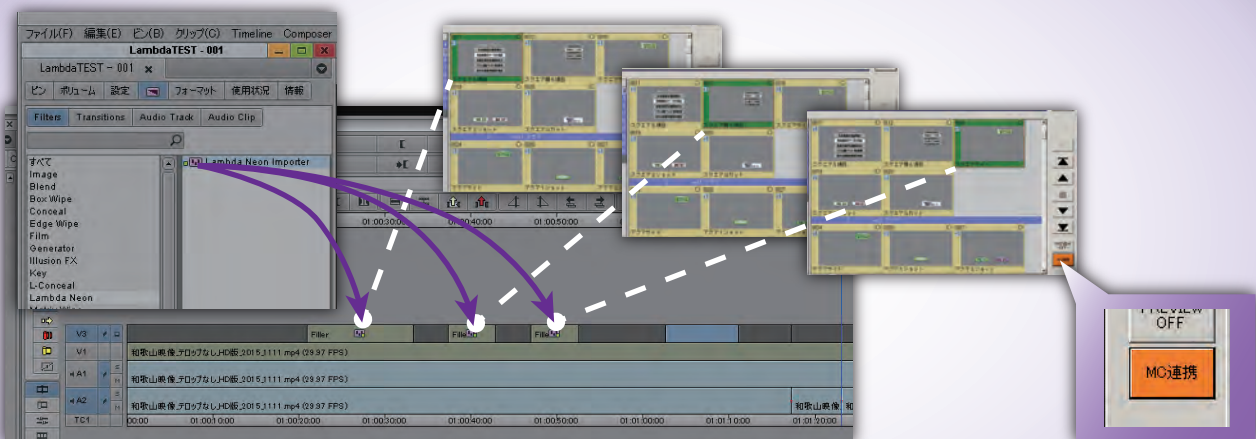
高品質のテロップをMedia Composerで

Neo・nのシーンエディタで作成したテロップを、動きもそのまま、エフェクトとしてMedia Composerにエクスポートします。ロール尺はタイムライン上でクリップを操作して変更できるため、尺の変更の度にエクスポートし直す必要がありません。日本語特有の縦書きの文字やルビの入ったテロップ付けも簡単です。素材管理ツールの素材ブラウザがタスクトレイに常駐しているので、いつでも呼び出して使うことができます。テロップの再編集も可能で、背景映像にあわせてすぐに編集ができます。



連携モードでスムーズに素材をエクスポート

素材ブラウザ上で「Media Composer連携モード」をONにすると、Media Composer上のタイムラインにエフェクトをドロップするたびに素材ブラウザ上の選択カーソルの素材が読み込まれ、自動的に次の素材へカーソルが移動します。大量のテロップ付けをする際に、1つずつエフェクトをドロップして、エフェクトエディタから素材ブラウザを開いて読み込む、という手間が省け、効率的に作業を行えます。



ノンリニア編集ソフト用Neo・nプラグイン

EDIUSプラグイン

Neo・nで作成したテロップを 簡単エクスポート

EDIUSへエクスポート後のテロップもNeo・nで再編集でき、作業の効率化とスピードアップをお約束します。加えて、EDIUSからタイムライン上の指定範囲をNeo・nへインポート。動画をNeo・n素材として使用できるので、さらに表現の幅を広げます。4Kにも対応し、高精細映像の編集をサポートします。

■「EDIUS」は、グラスバレー株式会社の製品です。



タイムコードによる大量一括登録

タイムコードを利用して大量のテロップ素材を一括でエクスポートできるので、作業効率が上がります。また、ドラッグ&ドロップで簡単エクスポート。タイムライン上で直感的に操作ができます。

※タイムコード一括登録の場合は、別途レンダリングサーバが必要となります。



EDIUSならではの機能

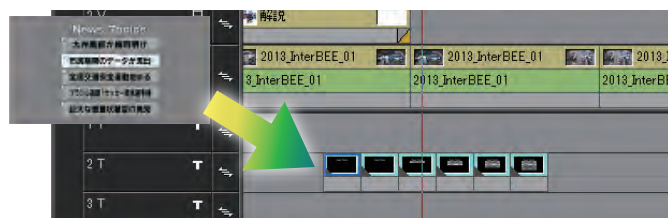
リニア風編集機能

動画を再生しながら、テロップをオン/オフして生収録のようにテロップをのせていくことができます。



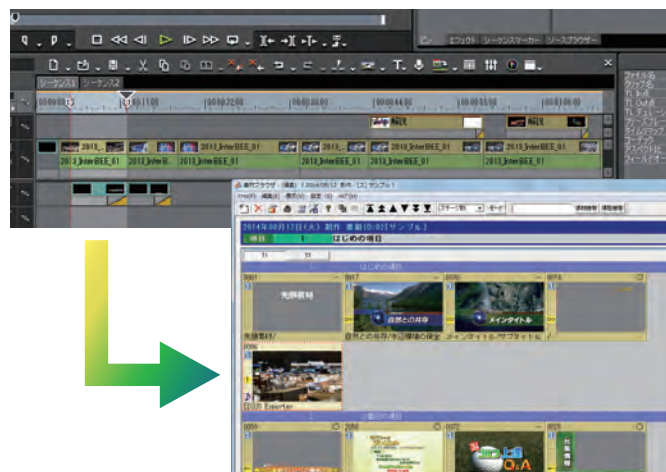
テイク点分割機能

素材ブラウザから「EDIUSへ」ボタンによりエクスポートする際、テイク点で分割してクリップを登録できます。



EDIUS上の動画をNeo・nへ

EDIUS上で指定した範囲の動画をNeo・n素材として使用できます。Neo・nにインポートされた動画は当社形式ストリーミング・アニメーションとなり、シーンエディタ上でシーケンス編集が可能になります。

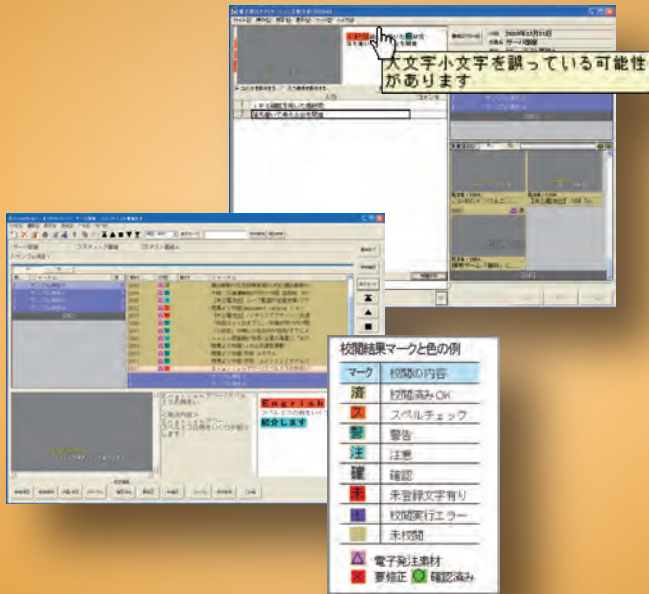


電子発注・校閲

正確な情報伝達を支援

テロップの発注から制作、校閲・送出順編集まで一連の作業環境を提供いたします。
 Webベースの電子発注アプリケーションもご用意しており、多彩な運用をサポートします。本システムでは、適切なタイミングでテロップ文字列の校閲を行います。
 日本語入力システム「ATOK」のオプション文章校正支援ツール「Just Right!」と連携して、正確かつ実用的で修正しやすい校閲環境をご準備いたします。

■「ATOK」「Just Right!」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。



校正支援辞書の使用で誤字を防ぐ

間違って使用してしまいがちな送り仮名、登録商標名、合併前の市町村名、英字略語等も校正支援辞書を使用することで、表記ルールの統一を容易に進めることができます。

校正辞書採用実績：朝日新聞社校正辞書、共同通信社 記者ハンドブック校正辞書

校閲結果と素材編集の連携で効率化

訂正候補のクリックで候補テキストのコピーができるなど、素材編集の正確さを高め、効率化を進めます。



簡易選挙

現場のニーズに応え、
選挙速報をサポート

シンプルで直感的なデータ入力と送出操作で、少人数による運用をサポートする選挙速報システムです。1つの操作画面で同時に4つまでの選挙に対応し、入力から送出までをこなします。PC1台での運用に最適なシステムです。主に、市区町村の首長選挙や議会議員選挙向けにご利用いただいています。



1画面で4つの選挙に対応

目的の選挙名をクリックで選択し、簡単でわかりやすいGUIで選挙データの入力・送出を行います。開票率などの自動計算はもちろん、按分票にも対応しています。さらに、送出プランを利用して複数の選挙情報を統合して送出することもできます。

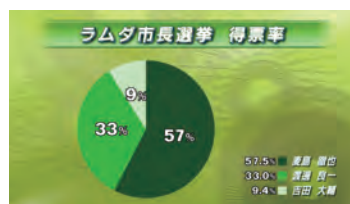
シンプルなGUI

最小限の操作で確認しやすいウィンドウ構成になっており、ドラッグ&ドロップで候補者の顔写真イメージを登録できます。ウィンドウに表示する選挙は4つ/2つで切り替えが可能です。



充実の情報画面

候補者紹介から開票速報、得票率のグラフまで、選挙速報に必要な情報画面を用意しています。グラフの色は任意に指定可能です。加えて、送出画面編集用に弊社の素材編集ツール「シーンエディタ」を組み込んでおり、書体やサイズの調整、背景画像の変更などが行えます。



他システムとのデータ連携

選挙データ (CSVファイル) の読み込みと書き出し保存ができます。書き出しデータファイルはデータ放送やWebで利用可能です。



高精細映像の世界を演出する

4Kテロップシステム

Neo・nとGRID-ZEROで 美しい4Kテロップを実現

4Kのために誕生したモデル、GRID-ZERO（グリッド・ゼロ）。高精細な3D画像描画を実現しながら、ダウンコンバート機能も備えたパワフルなシステムです。

販売後も開発が進み、注目を集めているHDRに対応いたしました。BT.2020規格にも対応しており、高精細・広色域・広輝度になる次世代の放送を見据えたシステム構築をご提案いたします。

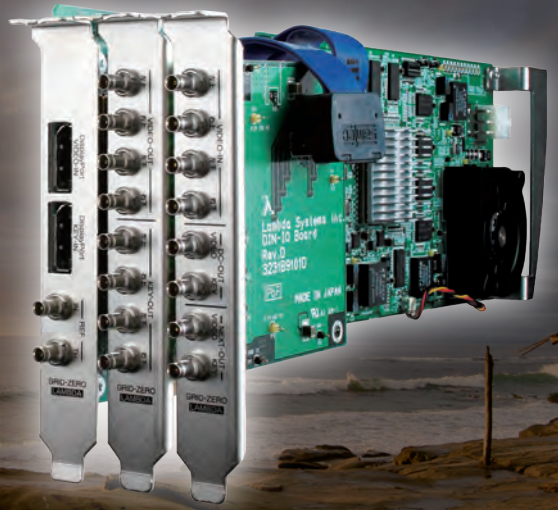


HDR/広色域BT.2020に対応

Neo・nのアプリケーションがHDRでの編集に対応。輝度の調整やHDR特有の色の調整ができるようになりました※1。

次世代の高精細映像を作成するにあたって必要不可欠なITU-R勧告のBT.2020、16ビットDeepColorにも対応し、より美しい表現が可能です※1。また、GRID-ZEROのダウンコンバージョン機能で、HDでの同時送出手も実現。これからの運用に最適なシステムです。

※1 HDR/BT.2020規格対応版のみ

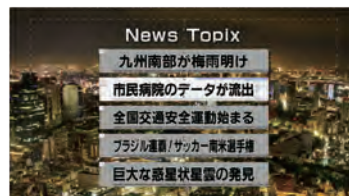


HD素材・HD環境をそのまま活用

Neo・nのシーンエディタで作成したテロップや、スポーツ・コーダで使用しているHD用素材をそのまま、4K画質で送出できます。文字や図形は正規に4K空間上でレンダリングするので、画質上の劣化がありません※2。作画は慣れ親しんだHD画角のシーンエディタで行えます。

作成した4Kテロップはイメージファイル出力が可能です。加えて、ユニットの動きを含む素材を、キー付連番ファイルに出力できます。これらのファイル出力機能が、4Kの後編集をスムーズにします。

※2 外部で作成したイメージファイルは拡大表示されます。



作画はHD

1920×1080



4Kで送出

3840×2160

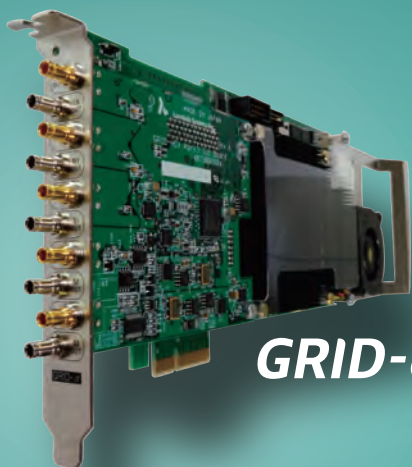
小型になった新しいGRID

GRID-σ / GRIDBOX

コンパクトになって、
ますます広がる用途

場所を選ばず扱いやすいテロップシステムへのニーズがますます高まっています。それに伴い、当社ではGRIDの小型化を進めて参りました。

また、様々なニーズに応えるため、2タイプのGRIDをご用意しております。(廉価版は近日公開予定)
高性能と小型化を両立した新しいGRIDです。



GRID-σ



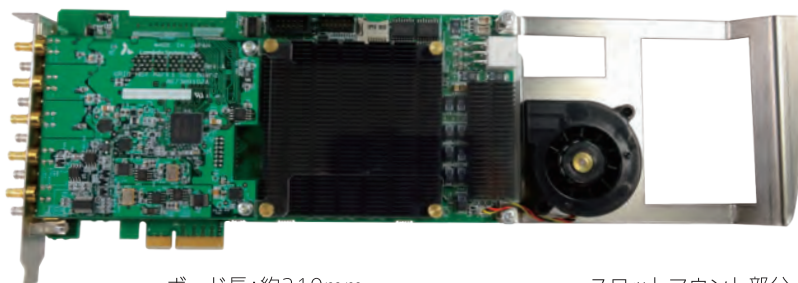
GRIDBOX

GRID-σ グリッド・シグマ

小さいボードに機能を凝縮

GRID-HEXAと同等の性能を持ちながら、歴代のGRIDの中で最も小さいサイズを実現しました。より小型なPCにも搭載が可能です。接続端子を交互に配置することで、2スロット占有していたところを1スロットに凝縮しました。今まで以上に、PCのスロットを有効活用できます。

また、エンベデッドオーディオにも対応し、より自由な使用方法をご提供しています。



ボード長:約210mm

スロットマウント部分



映像入出力端子▲

GRIDBOX グリッドボックス

Ethernet接続で利便性が向上

新製品のGRID-σと、送出制御用のエンベデッドPCを1Uハーフサイズに搭載した、新しいテロップシステムが誕生しました。Ethernet接続で、今まで以上に柔軟な機器構成が可能になります。

ラックマウントはもちろん、中継での使用等、様々な現場のカタチに対応します。



接続端子▲

複数 PC から共有利用が可能



LAN ケーブル接続だから
自由な引き回しが可能

1U ラックマウントが可能

GRID-σ(フレームバッファ)仕様

制御CPU	ARM Cortex-A9 MPCore Dual クロック周波数:コア667MHz メモリ1066Mbps CPUワークメモリ:DDR3-SDRAM 1Gbyte	
フレーム・メモリ	Line VRAM (V1/V2)	2048×2048×RGBK (各1プレーン) 256Mbyte (128M x 16bit DDR3-SDRAM×1ヶ)
	Next VRAM (V1/V2)	2048×2048×RGBK (各1プレーン) 256Mbyte (128M×16bit DDR3-SDRAM×1ヶ)
	MAT (Line/Next)	2048×2048×8bit (各1プレーン) 256Mbyte (128M×16bit DDR3-SDRAM×1ヶ)
	DIMM(相当)	512Mbyte (ワーキングプレーン) (512M×8bit DDR3-SDRAM×1個)
	JPEG/SDIIN/ROLL	512Mbyte (128M×16bit DDR3-SDRAM×2個)
画面合成	VRAM1(JPEG)、VRAM2、MAT、SDI IN(SROLL)の計4プレーンの画面合成が可能	
スクロール	任意単位で垂直(ライン単位)、水平(ドット/256単位)のスクロールが可能	
画像伸張	PCから転送したJPEG圧縮データ(HD画角)をリアルタイムで伸張可能	
オーディオ	エンベデッドオーディオ対応 SDI-OUT : LINE VIDEOのFILL出力のみ対応、最大6ch SDI-IN : VIDEO INのFILL入力のみ対応、最大6ch PCのオーディオデータとSDI-INのオーディオミキシングが可能 オートゲインコントロール(AGC)対応 ※オーディオ入力を合成出力する場合、出力位相調整に関係なく1フレームの遅延で出力	

映像出力仕様

HDTV出力信号	HD-SDI : BTA S-004B,SMPTE 292M(1080i)に準拠 SMPTE 274-1998に準拠 fv:59.94Hz LINE VIDEO : BNC×1 LINE KEY : BNC×1 NEXT VIDEO : BNC×1 SELECT OUT : BNC×3 ※SELECT出力は以下の信号から選択可能です。 LINE VIDEO/LINE KEY/NEXT VIDEO/NEXT KEY
調整機能	映像信号クロマレベル変調モード75%/100%の切替 ガンマ変換のON/OFF 位相微調整(±1Hの範囲で1pixelステップ) ※VIDEO/KEY同時変化 位相疎調整(±563Hの範囲で1Hステップ) ※全出力同時変化

映像入力仕様

映像入力	HD-SDI : BTA S-004B,SMPTE 292M(1080i)に準拠 SMPTE 274-1998に準拠 VIDEO入力 : BNC×1 KEY入力 : BNC×1 ※本機と同じリファレンスに対してGENLOCKした信号である必要があります。 また、入力映像は合成出力時に1フレームの遅延が発生します。
------	--

GRIDBOX仕様

プロセッサ	Celeron Processor J1900 ※2.0GHz
主記憶RAM	DDR3メモリ 容量 : 8Gbyte
記憶装置	SSD 容量 : 200Gbyte
インターフェース	Display : VGA×1ch Ethernet : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T×1ch USB : USB2.0×3ch RS-232C : ×1ch PIO : デジタル入出力(絶縁)×16bit
筐体サイズ	44mm(高さ)×215mm(幅)×330mm(奥行き) : 1Uハーフサイズ
重量	3.2kg
消費電力	AC100V : 47W
動作環境	温度 : 0~40℃ 湿度 : 20~80% ただし結露なきこと。
保存環境	温度 : -20~60℃ 湿度 : 10~90% ただし結露なきこと。

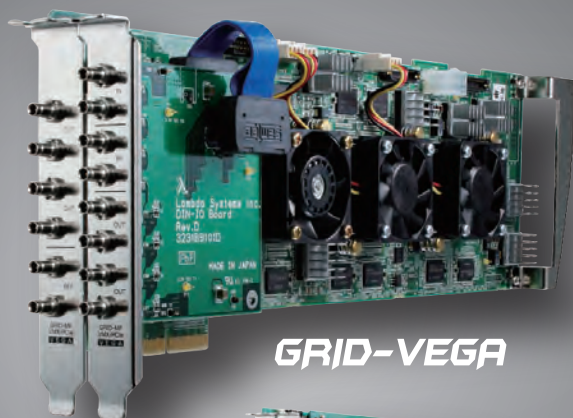
※本仕様は予告なく変更する場合があります。

愛され続けるフレームバッファ

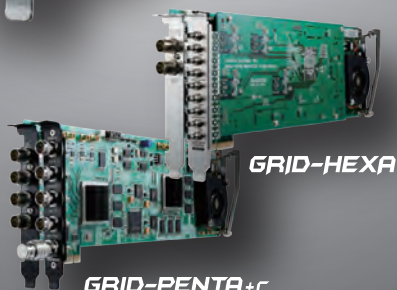
GRIDシリーズ

他メーカーの追随を許さぬ
開発力とサポート体制

GRID本体から送りリモコンなどのハードウェア製作からそれを駆使するファームウェア、さらにはアプリケーション・ソフトウェアまで全て自社で開発・設計しています。加えて、オプションボードによる機能拡張もサポートしております。これにより、長期にわたっての安定供給及び保守・メンテナンスが可能で、多くのお客様にご信頼をいただいております。



GRID-VEGA



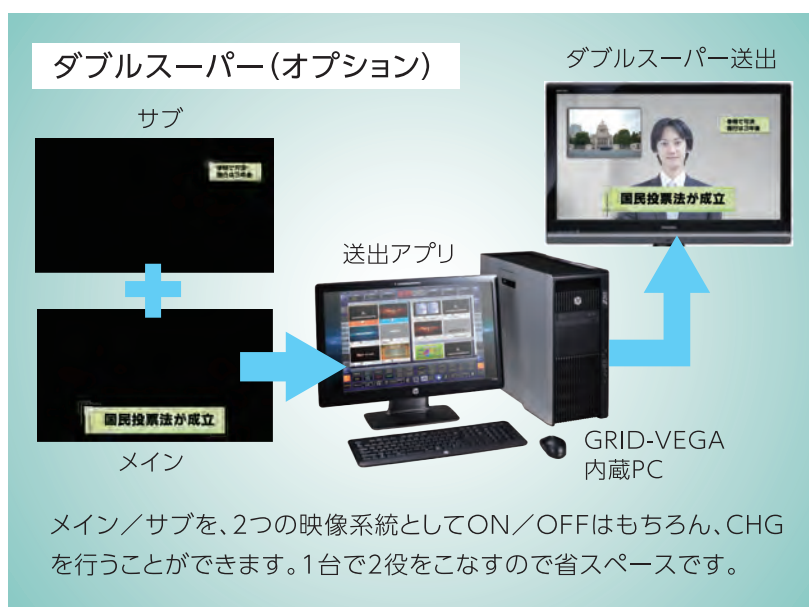
GRID-HEXA

GRID-PENTA+c

GRID-VEGA グリッド・ベガ

最上位モデル「GRID-VEGA」の機能をご紹介します。

- エンベデッドオーディオに対応
- 同一プレーンの重なりに対応
- NEXTを2系統表示可能
- 高速な静止画像キャプチャが可能
- フルフレーム長尺アニメに対応
- 3D入力+外部映像入力の同時合成に対応
- 外部映像入力の拡大／縮小
- クロマキー合成に対応
- 6系統の演算プロセッサと高速なDDR3-SDRAMでより複雑な素材に対応



GRID機能比較

	最上位モデル GRID-VEGA <small>グリッド・ベガ</small>	最新モデル GRID-σ <small>グリッド・シグマ</small>	推奨モデル GRID-HEXA <small>グリッド・ヘキサ</small>	低価格モデル GRID-PENTA+c <small>グリッド・ペンタ プラス シー</small>
外部映像ミキシング	○	○	○	○
静止画キャプチャ	○	○	○	○
LAMアニメ	○	○	○	○
ストリーミングアニメ	○	○	○	—
3D送出	○*	—	—	—
ビデオユニット	○	—	—	—
オーディオの扱い	エンベデッドオーディオ対応	エンベデッドオーディオ対応	別途オーディオボードが必要	別途オーディオボードが必要

*別途グラフィックボードが必要です



Adobe® Creative Cloud

非ネット接続ライセンス版を 使用可能に

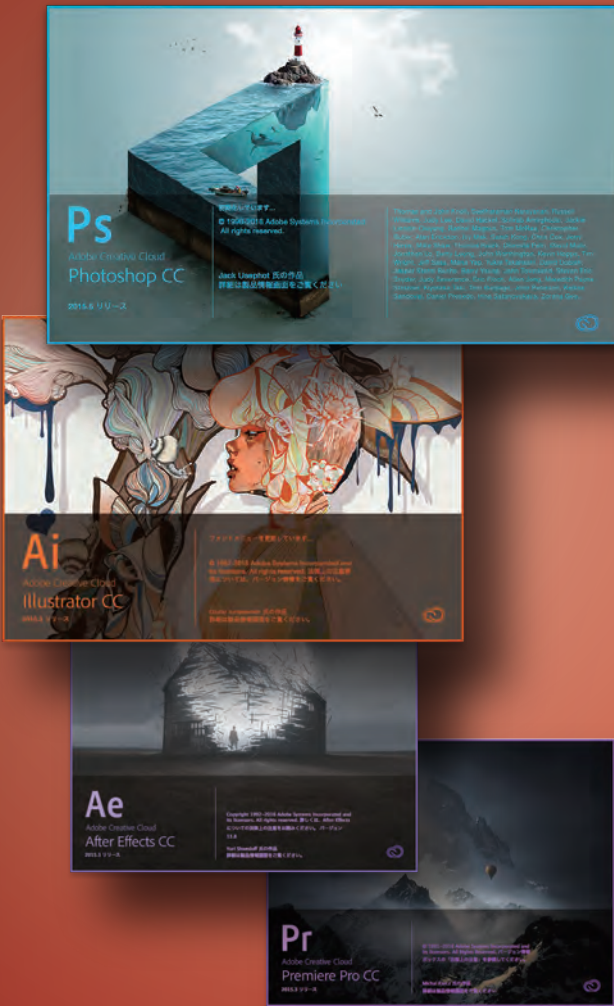
Adobeの最新アプリケーションは、通常はインターネット接続による認証が必要となっています。放送事業者においては、放送システムを外部とつなぐことが現実的ではありません。このため、非ネット接続ライセンス版が必要とされてきました。

当社は、特約付きAdobe Creative Cloudエンタープライズ版を契約し、ライセンス認証を必要としないAdobe Creative Cloudを当社製品ユーザーに対して提供が可能です。

本製品*を利用する放送局がインストールやアップデートをする際は、当社からディスクを提供。インターネットに接続することなく最新版が利用できるようになります。

詳しくは当社営業にお問い合わせください。

※ Adobe Creative Cloudグループ版および個人版とは異なる商品です。



■ その他製品名、ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Lambda Systems

THE CATALOGUE



株式会社 ラムダシステムズ

<http://www.lambda.co.jp/>

▼本社

〒154-0024
東京都世田谷区三軒茶屋2-11-26コア第2ビル
TEL 03-5787-3366 FAX 03-5787-3578

▼札幌支社

〒060-0001
札幌市中央区北一条西4-2-12北一条アネックスビル601
TEL 011-231-7715 FAX 011-231-7716

▼仙台営業所

〒981-0912
仙台市青葉区堤町1-1-2エムズ北仙台10F
TEL 022-727-5291 FAX 022-727-5292

▼名古屋支社

〒460-0003
名古屋市中区錦1-16-7NORE伏見8F
TEL 052-229-1300 FAX 052-229-1302

▼大阪支社

〒556-0011
大阪市浪速区難波中3-9-1難波ビル5F
TEL 06-6649-6817 FAX 06-6649-0928

▼福岡支社

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-25-24八百治ビル7F
TEL 092-436-6700 FAX 092-436-6701